



第47回 JSC全国ミーティング2015 志賀高原サイドカーフェスティバル 開催される

サイドカー&トライク関連の日本最大イベントとして、1968年以來5月のゴールデンウィークに開催されているのがJSC全国ミーティングで、なんと47年目を迎えた伝統ある催事である。2日間の参加人数は述べて450名！
JSC = 日本サイドカー連盟設立は'68年。モーターサイクリスト誌の'70年創刊号に全国からサイドカーマニア達が集まった全国ミーティングの様子が掲載され会員数が増大した。

撮影者：森本 一、橋本 晃、南出 稔、菅沼伸夫、勝野 章、志田 茂、高橋光三、JSC事務局
レポート：JSC事務局



現在ではサイドカーフェスティバルという名称になり、初期の利根川河川敷のキャンプ形式から、遠方の参加者の疲労回復に配慮してホテル形式が主体になっている。近年は会

員に年齢も高くなり、ご夫婦参加も多く「個室希望」「ウォッシュレット・トイレ付希望」が多くなっており、ミーティング担当はそれをキーポイントにホテル選択をしてきた。

2015年の場所はスキーに通っていた菅沼ミーティング担当役員が、志賀高原の観光協会で「サイドカー」のイベントでも貸してくれる宿泊250名程度のホテルを絞り込んでくれ、

ということで望んだものだ。事前に下見にいくと、ホテルの資料をドッサリ集めたゆえに「志賀の湯ホテル」が決定された。広い駐車スペース、食堂の大きさ、料理、全室シ

ャワートイレなどが決まっていた。2015年は参加車170台の中でサイドカーが多く、トライクはルバコなどが一ヶ台。もっともトライク登録のフランス製サイドバイク7台、ウラル6

台の参加があったから計20台程になる計算だ。最多はBMWの68台、ドマーニも9台。ハーレー14台、HondaはGLが多く22台と国産最多、どのマシンも個性的であった。

国道最高地点2175mの志賀高原草津ルートで

開催に際しては当初は道路事情も良くないことで「遠くから来る人のために宿泊形式で、しかも複数日開催として自由に皆に会える機会を提供」しようと2泊形式が主体で続けられてきた。

当初の利根川河川敷でのキャンプから「ゆっくりお風呂に入ってもらおう」と場所も参加しやすい箱根周辺のホテル1泊数回、西湖でのキャンプ形式にて数回実施されたが「参加者同志での話がなかなかできない」ということから、1泊だと「行って帰るだけ」になりやはり2泊がいいということになり、場所も宿がとりやすい長野地域に移動することになる。場所も白樺湖、蓼科高原、菅平、野辺山、八ヶ岳、車山、霧ヶ峰、岡谷、諏訪湖と変わる。選択のポイントは2泊しても負担の少ない料金体系で、観光シーズン直前の長野県が選ばれ実施されることになる。

長野県の志賀高原で開催されたわけだが、概要をJSCのHPに載せると、数軒の「開催危険！」のハガキがJSC事務局あてに届いた。それも道理で前年の夏以降、道路となる国道最高地点2175mの志賀草津白根高原ルートの休憩所は、なんと白根山の火山噴火によって立寄り禁止区域になっている。ツーリング途中で噴火したら危険ではないか！というご意見であった。

このためJSC事務局も噴火情報を調べてみた。その結果、火砕流が発

生したとしても、その流れは志賀高原の反対側である草津側にゆくという予測が出されていたのである。

JSCのHPでは「全国ミーティングの開催地志賀草津高原ルート」への問い合わせがきています。場所的に白根山（火山）のそばなので大丈夫か？という問い合わせです。事務局の調べでは

①昨年草津ルートは度々、通行止めになっていたりしていましたが、夏には解除されました。

②白根山が噴火した際には溶岩、火砕流などは東側の草津町のほうにゆくようで、下記草津町の情報です。

③開催場所は白根山火口より7kmも離れているため、安全上の問題はないと判断しています。ホテルは案内にも記載したように志賀高原の最も西にあります。

④先月に「白根山噴火の兆候」とのニュースがありましたが、レベルは2から3で、入山禁止の処置になっています。なお草津側ハイウェイは現在が積雪のため通行止め、4月末に昼間みの通行になる予定です。

⑤今後も注視して新情報がございましたら、この掲示板にてご報告申し上げます』と告知を実施。『3月25日の全国ミーティングの申込状況、3日泊は、いっぱいになってきました。ここ数日で満室になるかもしれません。4日泊はまだ余裕があります。4日みの参加もご検討ください』と告知しての開催となった。



ミーティング受付



おかしとか、おもちとか



JSCkaigiバックナンバー



JSCグッズの数々



ロビーでのJSCグッズ販売コーナー



会場の「志賀の湯ホテル」、手づくり料理のおもてなしで大好評であった





5月3日午後に受付開始

志賀の湯ホテル前



日本の最高峰における山岳ツーリングも実施されるとあって、北は秋田や青森、南は四国や鹿児島から230名もの宿泊申込参加があり、多くが連泊する人が多く、述べ参加人数は約450名、170台ものサイドカー&トライクが集まった。

日本屈指のツーリングコースゆえに日帰り参加も可能で、特にサイドカー&トライクショーには最新型マシンが展示され、めずらしい参加車の見学も無料ということで、期間中はツーリング途中のバイクやトライクの姿も多くみられた。JSCのミーティングは、個性的機構のマシンが多いサイドカー&トライクの研究をしたい人にピッタリである、メカに興味のある人には実に有意義なイベントといえるのである。

JSCの全国ミーティング・スタッフの多くは3日早朝からの準備があるため、前日から宿泊して対応した。

ホテル外部では案内看板の敷設、駐車場の設定、サイドカー&トライクショーの区分けなど。ホテル内部では受付の机や椅子、配布物の整理などが実施された。

事前のホテルとの打ち合わせで、昼食はどなたもホテル内入り口横の喫茶室で可とした。

またペット同伴の宿泊も可能としてペット体重10kgまで可能としたが、複数の家族の方がペットと宿泊された。

5月3日は13時に受付オープン、ホテル入口すぐのロビーで実施、なおチェックインは15時から。同時にサイドカー&トライクショーもオープン。昼食はホテルロビー隣接の食堂で自己負担型式で実施、メニューも数種が用意された。

またおかみさんの配慮で度々、ドーナツの差し入れもありましたので感謝申し上げます。

